

2025年3月期(第92期)
第2四半期 決算概要

株式会社ユニバンス

<https://www.uvc.co.jp/>

2024年11月11日

連結経営成績



単位:億円	'23年度	'24年度	前期比較
	第2四半期	第2四半期	増減額
売上高	249.9	282.9	+33.0
営業利益	13.7	22.1	+8.4
経常利益	14.8	23.9	+9.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	11.1	19.0	+7.9

為替レート (期中平均)	'23年度	'24年度	前期比較		
	第2四半期	第2四半期	増減額	増減比率	為替傾向
円/ドル	142.61	152.50	+9.89	+6.9%	ドル高
円/100ルピア	0.943	0.955	+0.012	+1.3%	ルピア高
円/ハーツ	4.07	4.30	+0.23	+5.7%	ハーツ高

対前期比較:増収増益

売上高

- 顧客における半導体供給不足による生産調整の影響が解消したことや、円安に伴う為替換算影響等により、増収となった。
(主にはタイ売上増 (詳細はP2以降参照))

営業利益

- 材料価格および労務費の上昇があるものの、売上増加および円安影響により、増益となった。

事業別/拠点別 売上増減(前年同期比)

・売上高:外部顧客への売上高

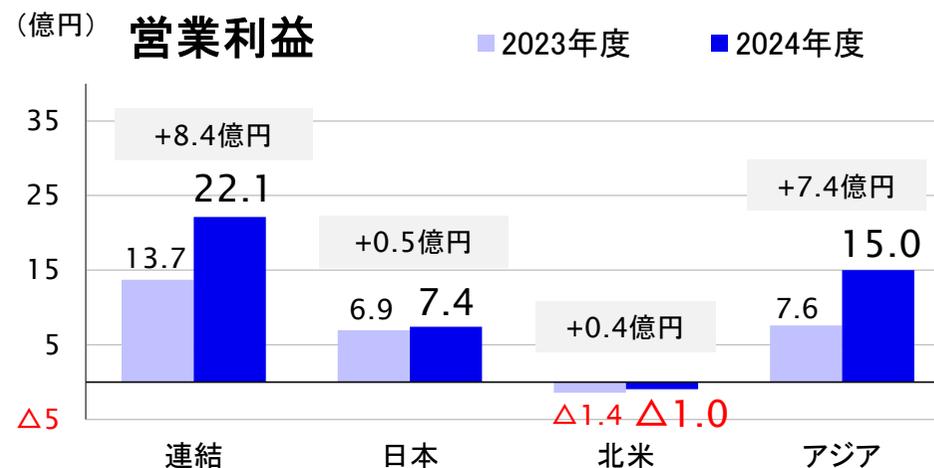
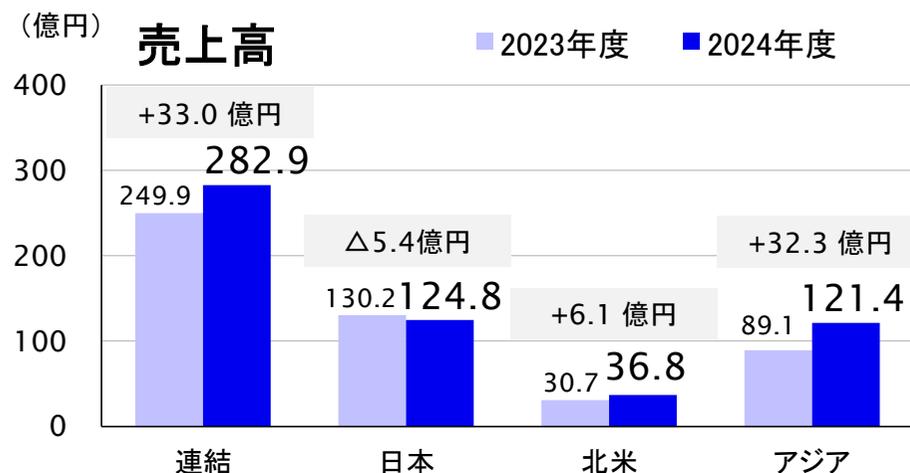
・為替換算差の影響を除く

事業	部品群	全体 (率)	拠点			
			日本	米国	インドネシア	タイ
ユニット	FR用四輪駆動装置	161%				161%
	FF用四輪駆動装置	92%	81%	22%		102%
	農機用トランスミッション	101%	101%			
	マニュアルトランスミッション	122%	122%			
	その他	80%	82%	74%		
	計	112%	95%	41%	-	131%
部品	CVT用部品	113%	104%	132%		
	AT用部品	96%	96%			
	エンジンギヤ他	86%	86%			
	その他	103%	95%	121%	79%	
	計	105%	97%	126%	79%	-
合計		110%	96%	112%	79%	131%

主には、タイ拠点におけるFR用四輪駆動装置の増収により、ユニット事業は増収となった。
米国拠点においては、新規顧客向け製品の販売増により部品事業は増収となった。

拠点別：連結売上高・営業利益(前年同期比)

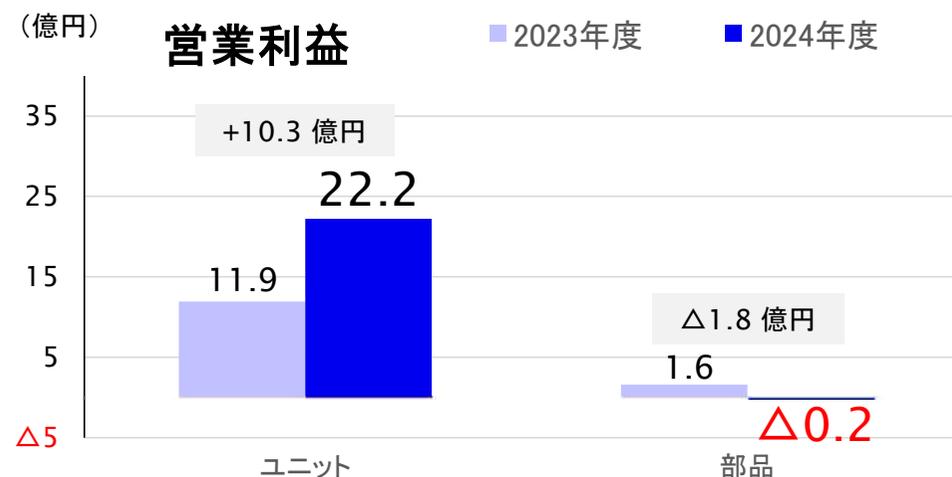
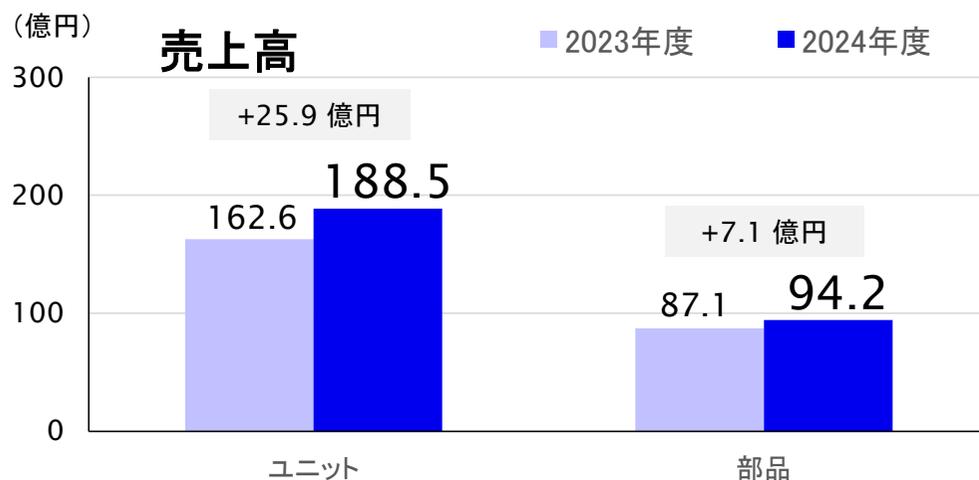
売上高:外部顧客への売上高



- 連 結：【増収増益】
- 日 本：【減収増益】 ・中国市場のICE製品縮小や顧客における生産調整の影響等により減収となったが、円安に伴う為替換算影響等により減収増益となった。
- 北 米：【増収赤字縮小】 ・新規顧客向け製品の販売増により赤字縮小となった。
- ア ジ ア：【増収増益】 ・FR用 四輪駆動装置の増収影響により増益となった。

事業セグメント別：連結売上高・営業利益(前期比)

・売上高:外部顧客への売上高



ユニット:【増収増益】 ・顧客における半導体供給不足による生産調整の影響が解消したことや、円安に伴う為替換算影響等により、増収増益となった。

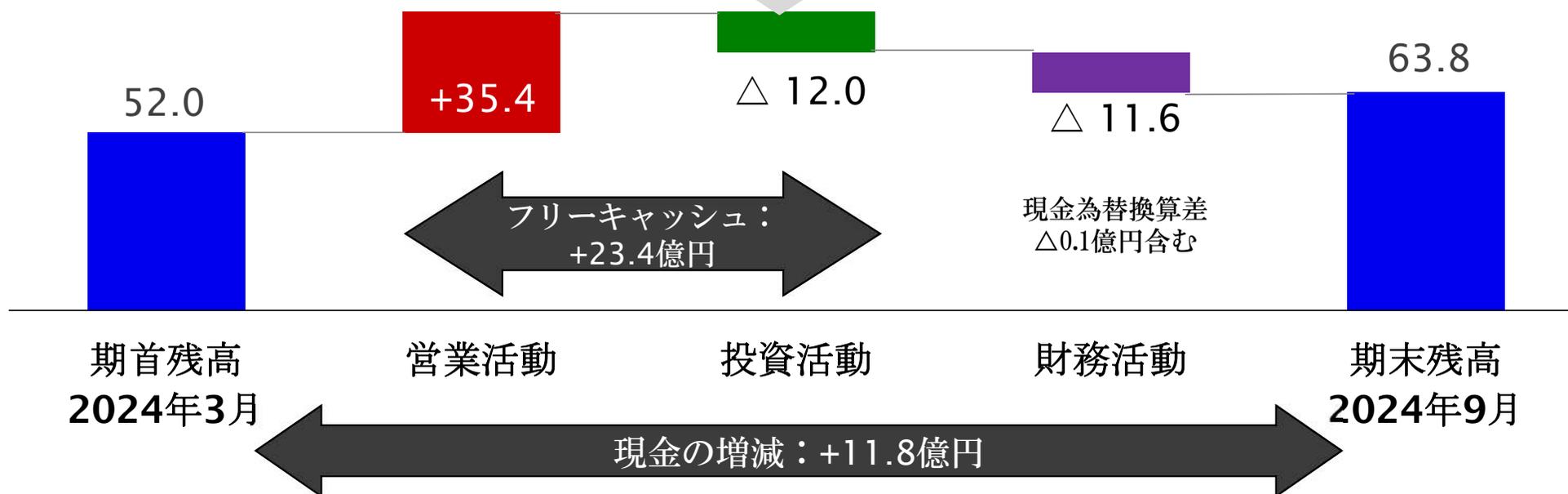
部品:【増収赤字化】 ・顧客における半導体供給不足による生産調整の影響が解消したことや、円安に伴う為替換算影響等に加え、新規顧客向け製品の販売増により増収となった。
増収影響はあったものの、賃上げによる労務費の増加や、サプライヤーへの価格高騰分の値上げによる仕入れコストの増加等により、赤字化となった。

連結キャッシュフロー

(単位: 億円)

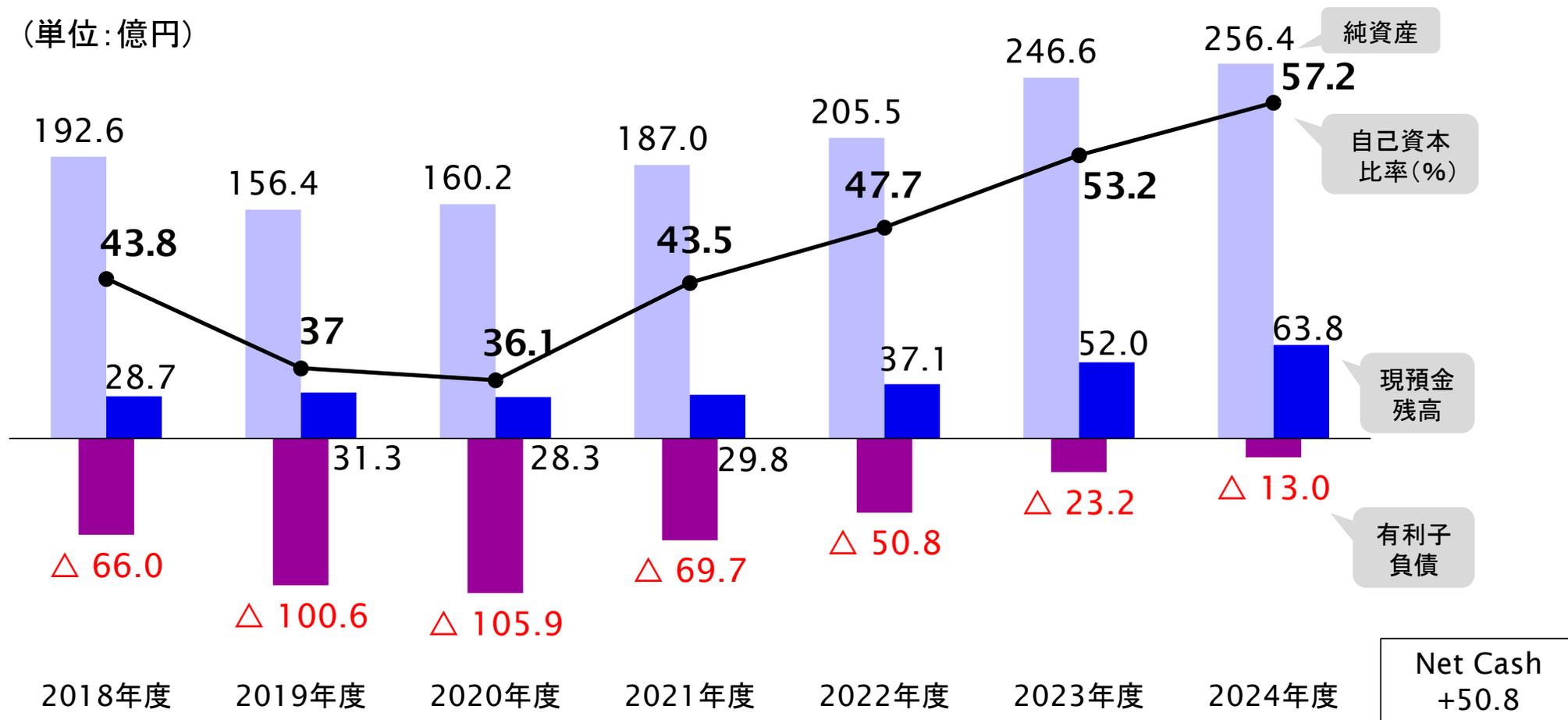
【主な投資内容】

- ・日本：△10.0億円
 - 日本設備増強：△3.0億円
 - 競争力強化：△4.7億円
(試作強化、ものづくり改革)
 - その他更新等：△2.3億円
- ・海外：△2.0億円
 - 米国設備増強：△1.3億円
 - その他更新等：△0.7億円



連結有利子負債・自己資本推移

(単位: 億円)



2025年3月期 第2四半期業績予想と実績との差異 および中間配当・増配



単位:億円	2025年3月期 2Q予想	2025年3月期 2Q実績	予想との差異	
			増減額	増減率
売上高	270.0	282.9	12.9	4.8%
営業利益	15.0	22.1	7.1	47.5%
経常利益	16.0	23.9	7.9	49.2%
当期純利益	13.0	19.0	6.0	45.8%
配当金 第2四半期末	6円	7円	+1円	—
為替レート通期平均 円/米ドル	145.00	152.50	7.50	5.2%
円/100ルピア	0.940	0.955	0.015	1.6%
円/バーツ	4.10	4.30	0.20	4.9%

当第2四半期の業績は、主に北米市場向け製品の販売が増加したこと、および為替換算影響(円安)により前回予想を上回りました。

中間配当においては、下記方針、および上期の業績を勘案し、上記のように増配へ修正する。

- 経営の基盤と収益力の強化に努め、今後の事業展開の投資等に備えつつ収益と財務のバランスを図りながら、継続的な配当を実施していく。
- 中期経営戦略『Vision2030』を策定し持続的な成長を目指す中で、資本効率の向上及び株主への積極的な還元を進める。

2025年3月期 通期連結業績予想および配当予想



単位:億円	2024年3月期 通期実績	2025年3月期 通期予想 (今回)	前年度比較		2025年3月期 通期予想 (前回)	前回との 差異
			増減額	増減率		
売上高	527.7	500.0	△ 27.7	△ 5.3%	540.0	△ 40.0
営業利益	43.7	25.0	△ 18.7	△ 42.8%	30.0	△ 5.0
経常利益	45.4	27.0	△ 18.4	△ 40.5%	31.0	△ 4.0
当期純利益	17.7	20.0	2.3	12.8%	25.0	△ 5.0
配当金						
第2四半期末	5円	7円	+2円	—	6円	+1円
期末	6円	6円	+0円	—	6円	+0円
合計	11円	13円	+2円	—	12円	+1円
為替レート通期平均						
円/米ドル	145.31	152.50	7.19	4.9%	145.00	7.50
円/100ルピア	0.945	0.955	0.010	1.1%	0.940	0.015

・上期の実績は前回予想を上回ったが、下期においては中国の景気停滞の継続や、北米市場の冷え込みにより当社の受注減少が見込まれることから、通期の売上高および営業利益以下の利益予想を下方修正する。
 ・上記に加え、エネルギー・原材料価格の高止まりや、インフレや人手不足を起因とした賃上げ傾向の継続など、当社を取り巻く環境は依然として先行き不透明な状況であることから、中間配当増配に対し期末配当予想は1株当たり6円のまま据え置きとする。
 ⇒年間配当金は13円(前期比 2円増配)となる見込み。